

神根中だより

～自他共に認め合い学び合う

夢と笑顔と潤いのある学校～

令和8年1月号

学校教育目標

主体的に学び合い

心豊かで たくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1

電話 (048) 296-7025

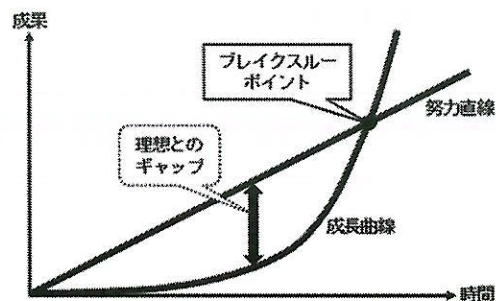
継続は力なり

校長 寺田 和成

2026年、「前進」「挑戦」「成長」を象徴する「午年」がスタートしました。保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新しい年の始まりにあたりまして、皆様の益々のご健康とご多幸を願っております。本年も引き続き、学校教育目標の具現化に向けて、教職員一同一丸となって、本校の教育活動の充実に全力で取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「100回叩くと壊れる壁があったとする。でもみんな何回叩けば壊れるかわからないから、90回まで来ていても途中であきらめてしまう。」「君が次に叩く1回で、壁は打ち破れるかもしれないんだ!」これは、日本の元プロテニスプレーヤーの松岡修造さんの言葉です。人は一生懸命努力していても、なかなか先が見えないと、途中であきらめたり、投げ出したりしてしまうことがあります。学習面でも運動面でも、勉強や練習の成果がなかなかあらわれずに、不安を感じることは誰にでもあることです。しかし、あきらめずに努力を続け、その不安を乗り越え、松岡さんの言う「壁」を打ち破った先にこそ、大きな成果や自分自身の成長というものがあるのではないかと思います。

何かを成し遂げたいければ、一つ一つ努力を積み重ねていくしかありません。その努力は、グラフ内の線（努力直線）のように少しずつ増えていきます。しかし、努力していても、成長は同じようにあらわれるわけではありません。1日努力したから、1日分の成長があるわけではなく、もう一つの線（成長曲線）のように、しばらくは毎日努力していても、少しも成長しない日が続きます。この間、“理想とのギャップ”に悩み、多くの人はこの段階でやる気をなくし、あきらめてしまいます。しかし、その少しずつの努力の成果はしっかりと自分自身に蓄えられていくので、努力を継続していると、ある日を境に爆発的に力が伸び、一気に成長が進むと言われています。それが“ブレイクスルーポイント”と呼ばれるものです。「壁を越える」とは、まさにこのことではないかと感じます。



新しい年を迎え、年頭に「新年の目標」を掲げた人も多いのではないのでしょうか。まだという人は、ぜひ目標を掲げてみてください。そして今年1年、途中であきらめずに、目標達成のために努力を継続して行ってほしいと思います。よく三日坊主の定番として日記や整理整頓、そして「新年の目標」などが挙げられたりします。しかし、考え方を変えれば、3日続いたのですから次の日できなかったからといって、そこであきらめてしまう必要はないのだということです。1日休んでも、また次の3日続けていけばよいのではないのでしょうか。3日続けて1日休むというペースを1年間繰り返せば、274日続けることになります。3日続けて2日休んでも、219日続けることになります。学校の授業日数は年間で200日ぐらいですので、それよりも確実に多く続けることになるわけですから、成果や成長は必ずあらわれるはずです。

努力は段階的に重ねていかなければなりませんが、成長は加速度的に訪れます。「継続は力なり」、ぜひこの言葉の意味と大切さを理解して、新年の良きスタートを切ってほしいと願います。